

印刷品質検査装置を活用した品質保証体制構築による競争力の強化

品質に中国地方でナンバーワンの自負「顧客の商品を一つでも多く売りたい」



高い技術力生かしたパッケージ印刷
製版から箱の組み立てまで一貫生産

【経営理念】

お客様と社員の喜びを通じて、社会への貢献を目指す。

株式会社河内は1990年に設立したパッケージ専門の印刷会社。製版から印刷、打ち抜き、箱の組み立てまで一貫して生産している。本社は広島市で、東京に営業所、出雲市に2カ所の工場を持つ。

チラシなど通常の商業印刷は、ほとんどが一回ごとの取り引きだが、パッケージは継続使用が前提。さらに消費者が商品を選ぶ「顔」にもなるだけに、顧客の要求は厳しい。同社では高い技術力を生かして、安全性や清潔感などで最高レベルの品質が必要となる医療用具メーカーや化粧品メーカーと長く取り引きを続けている。

20年以上前に中国地方で初めてUV印刷を導入した。専用インキを使い、印刷後にUV（紫外線）で瞬時にインキを乾燥（硬化）させるため、作業効率がよく、インキに溶剤を含まないので環境にもやさしい。

また、紙だけでなく、透明性のあるクリアパッケージへの印刷も手がける。紙の作業工程で細かいほこりが出るため、紙とクリアパッケージとを同じ機械で印刷するのは不可能とされていたが、同社ではきっちりと清掃し、双方を扱っている。



高精細カメラで品質検査
不良品数が減り稼働率もアップ

高レベルで品質を保持するため、ものづくり補助事業で検品体制の強化を計った。従来は定期的に製品を抜き取り、従業員が目で確認していたため、不良品を発見すると機械の流れを止めて調べねばならず、他の製品の生産に影響があった。さらに膨大な数の製品チェックが必要となり、時には検品をすり抜けて顧客からクレームが来ることも。

そのため、高精細カメラを搭載した品質検査装置を導入した。印刷物が流れるスピードを落とさずに、カメラが高速で品質チェックするため、不良品が出たら即座に発見できるようになった。すぐに改善できるため不良品の数が減り、設備を止める回数も少なくなり稼働率が向上した。

また、目視では色の濃淡の変化など「疑わしいものはすべて除去する」という検査にならざるをえなかったが、機



代表取締役
後河内 信



1



2



3

- 1 枚葉印刷品質検査装置
- 2 2基の高精度カメラで、印刷速度を落とすことなく高速で品質をチェックできる
- 3 同社が手掛けるパッケージ

械による数値基準を設定できるようになり、顧客の要求する品質の度合いに合わせて納品できるようになった。



クリアパッケージの需要に手応え
アジアなど海外進出も視野に

同社は、「業界平均の1.5倍の生産性を確保する」とし、10年以上前から段階的に努力してきた。5年前に完成した出雲工場も、印刷に最適な空調設備や室温・湿度となる構造にし、機械設備も少しずつ増やしている。

品質は、中国地方でナンバーワンとの自負がある。たとえば、東京、かつ化粧品という、要求がシビアな市場で勝負できる実力を持つ会社は、地方には多くない。化粧品業界では近年、ドラッグストアやコンビニで若い世代にアピールするように、かつて主流だった紙箱ではなくクリアパッケージの伸びが大きい。同社では、今後の取引先の増加などに大きな手応えを感じている。

また、「製作したパッケージで、顧客の商品を一つでも多く売りたい」との意識がある。山陰の顧客で、同社のパッケージに変えた後、売り上げが倍増した商品もある。海外進出も視野に入れており、経済成長の伸びが大きいアジアの国々で、世界最高レベルの日本の印刷技術を売り込む計画だ。

Company Data

(株)河内



出雲市長浜町にある同社・出雲工場

代表者名：後河内 信
設立年月日：平成2年12月1日
資本金：85,000千円
従業員数：46名
業種：印刷・同関連業
売上：1,095百万円
住所：〒731-5106
広島県広島市佐伯区利松2-6-4
電話：082-928-6860
FAX：082-928-6830
URL：<http://www.hakoya-kochi.com/>
メール：info@hakoya-kochi.com